

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【公表番号】特表 2012-520380 (P2012-520380A)

【公表日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2012-035

【出願番号】特願 2011-554139 (P2011-554139)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/06 (2006.01)

C 0 8 G 69/26 (2006.01)

B 6 0 R 13/02 (2006.01)

F 1 6 L 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/06

C 0 8 G 69/26

B 6 0 R 13/02 B

F 1 6 L 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 11 日 (2013.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

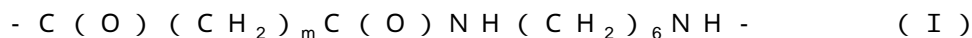
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反復単位が、

式

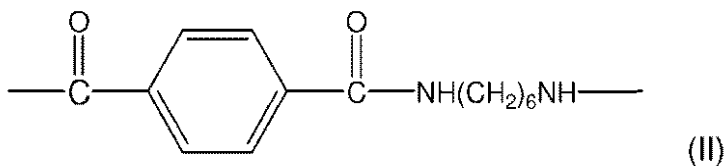


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 68 ~ 約 82 モル % と、

式

【化 1】



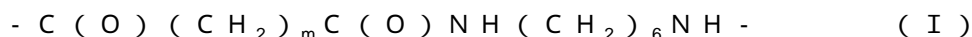
の反復単位約 18 ~ 約 32 モル % と

から本質的になるポリアミドを含有する組成物を含む車両部品であって、前記車両部品は正規運転において塩にさらされるという条件である車両部品。

【請求項 2】

反復単位が、

式 (I)

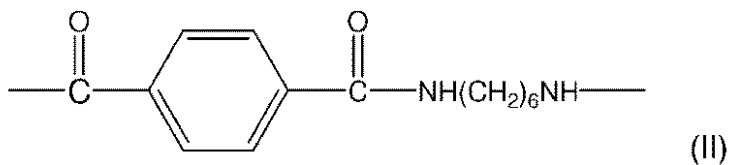


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 65 ~ 約 85 モル % と、

式 ( I I )

【化 2】



の反復単位約 15 ～ 約 35 モル % と

から本質的になるポリアミドを含有する組成物を含む部品を備えた車両であって、前記車両部品は正規運転において塩にさらされるという条件である車両。

【請求項 3】

反復単位が、

式 ( I )

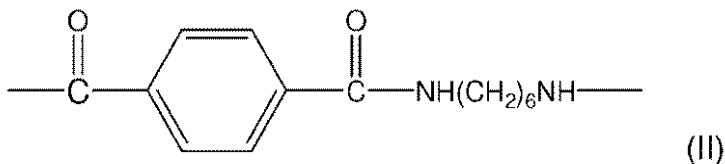


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 68 ～ 約 82 モル % と、

式 ( I I )

【化 3】



の反復単位約 18 ～ 約 32 モル % と

から本質的になる、ポリアミド。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のポリアミドを含む、部品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

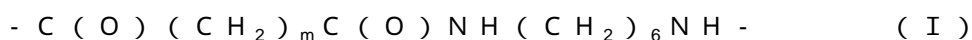
【0048】

実施例 7 ～ 9 において示した通り、これらのポリアミドは、強化剤および / または可塑剤と混合された時、特に塩が存在する環境におけるホースとチューブのための特性の良好な組合せである良好な塩応力割れ抵抗性のみでなく、優れた耐屈曲性および良好な破裂強度を典型的に示す。

なお、本発明は、特許請求の範囲を含め、以下の発明を包含する。

1. 反復単位が、

式

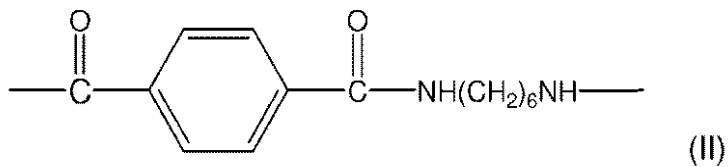


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 68 ～ 約 82 モル % と、

式

## 【化 1】



の反復単位約 18 ～ 約 32 モル % と

から本質的になるポリアミドを含有する組成物を含む車両部品であって、前記車両部品は正規運転において塩にさらされるという条件である車両部品。

2. 前記組成物が、強化剤および / または可塑剤を含有する、1 に記載の車両部品。

3. 前記強化剤が前記組成物の約 5 重量 % ～ 約 45 重量 % の量で存在する、2 に記載の車両部品。

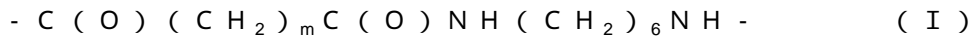
4. 前記可塑剤が前記組成物の約 1.0 重量 % ～ 約 20 重量 % である、2 に記載の車両部品。

5. 前記ポリアミド反復単位が式 (I) 約 70 ～ 80 モル % と、式 (II) 20 ～ 30 モル % とから本質的になる、2 に記載の車両部品。

6. ホースまたはチューブである、1 ～ 4 のいずれか 1 に記載の車両部品。

7. 反復単位が、

式 (I)

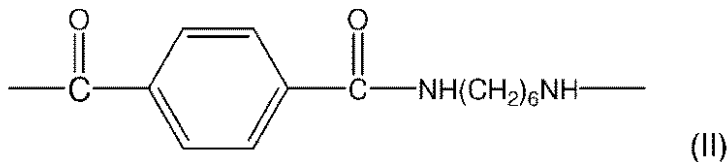


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 65 ～ 約 85 モル % と、

式 (II)

## 【化 2】



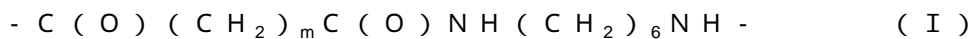
の反復単位約 15 ～ 約 35 モル % と

から本質的になるポリアミドを含有する組成物を含む部品を備えた車両であって、前記車両部品は正規運転において塩にさらされるという条件である車両。

8. 前記部品がホースまたはチューブである、7 に記載の車両。

9. 反復単位が、

式 (I)

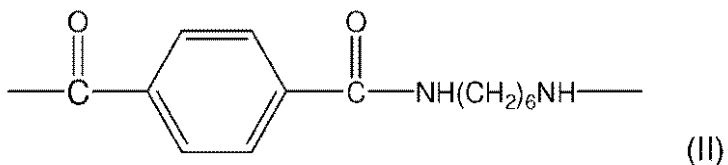


(式中、m は 8 および / または 10 である)

の反復単位約 68 ～ 約 82 モル % と、

式 (II)

## 【化 3】



の反復単位約 18 ～ 約 32 モル % と

から本質的になる、ポリアミド。

10．前記反復単位が式(Ⅰ)約70～80モル%と、式(Ⅱ)20～30モル%とから本質的になる、9に記載のポリアミド。

11．9に記載のポリアミドを含む、部品。

12．ホースまたはチューブである、11に記載の部品。